名車が静かに眠る、ミュージアムのようなガレージ。

N市　A邸　アシハラヒロコデザイン事務所

本誌の創刊号から愛読しているA氏。
いつかはガレージを建てたいと夢見ていた。
クルマはルーフの魅力に魅せられて、その世界を謳歌する。
夢を現実に、そしてパフォーマンスを楽しむ1人である。

photo/Keigo-KIMURA（木村圭吾）　text/Jun-ISHIHARA（石原　淳）
Special thanks to SAFTY LIFE　http://www.safety-l.com/

01
GARAGE LIFE EXAMPLE

約120坪の敷地に建てられた鉄筋コンクリート造のガレージハウス。乳白色のガレージドアを開けると、4台のポルシェが出迎えてくれる。実際にはポルシェをチューンしたルーフ（RUF）が2台。しかも世界で30台しか製造されなかった希少な469馬力のCTR（カレラ・ターボ・ルーフ）1と520馬力を有するCTR2という組み合わせ。日本でもこの2台を所有しているオーナーはおそらく一人。世界でも数少ないコレクターのA氏である。エクステリアは極力、ノーマルのボディをベースにしているが、エンジンチューニングされたマシンは、ドライブした人しか分からない世界があるのだろうと推測する。このガレージハウスを建てる前は、この場所にキットガレージとテント式ガレージを置いてクルマを保管し、自宅から通っていたが新居とともにガレージを建てることになった。

ガレージのシャッターはナブコドア株式会社が取り扱いをする『BUTZBACH』製のドア。光が入り、明るいガレージとなるが価格は2枚で1000万円という。

クリーンなシンプルさの中に取り入れたことで表情が豊かに見えるNさんのガレージ。ダブルドアにして防犯を強化している。

上／EG WAY OUT のモーターは、通常はシンプルにするためボックスのなかに収納するようにしている。　下／左右に突き出たマフラーに合わせてモディファイされたEG WAY OUT。クルマに合わせてカスタマイズできる点もオーナーの心をくすぐる。

設計を依頼したのは東京の『アシハラヒロコデザイン事務所』。知人の紹介で訪問したようだが、女性の設計士らしく生活動線をまず考えること、そしてシンプルなデザインを好む点などに共感したのだそうだ。出した要望はガレージにクルマを4台入れること、そしてショールームのようなデザインだった。ガレージに対しては知識が浅かったので、仕上げの相談はA氏とともに行った。ガレージの顔としてのシャッターは、ドイツ製BUTZBACH のシャッターを入れているが、これは設計事務所からの提案。このシャッター、個人宅の導入は珍しいが商業施設などに採用されることが多い商品。デザイン性に優れているため、設計士はどうしてもこの商品を入れたかったそうだ。

もう1枚『三和シヤッター』製電動式ブロードを隔ててガレージとなるように設計されている。二重にしたガレージドアには理由があった。日常と、非日常を分けるためにアプローチに植栽を入れてシンプルな

01

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF Mr.A

希少な収まるガレージは、ダブルドアでホコリをシャットアウト。

ドイツ本国のルーフ氏が自分のために製作したといわれるグリーンボディのCTR。独特なボディカラーが存在感を醸し出す。

2台の歴代ルーフが並ぶ希少なショット。世界を見まわしても、貴重な組み合わせといえるだろう。

Aさんは書斎からクルマを眺めることが気に入っているようだが、たしかに内から外へのこの風景は格別。

01

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF Mr.A

PLANNING DATA & MATERIALS

美術館のような邸宅。シンプルななかに拘りの設備。

ガレージの外で洗車ができるようにと水道を配備。汚れた水が流れるようにと設計も施されている。

ガレージのなかにも視覚効果が抜群なグリーンが入る。アプローチでは洗車ができるだけでなく、セキュリティ対策も兼ねているのだ。普段、スチールシャッターを閉めていれば、ガレージのなかの様子は分からない。

ガラスで仕切られた部屋は書斎としている。本来はオーディオルームも想定していたが、母屋にオーディオルームができたためガラスによる間仕切りのみとした。天井から吊るしているガラスの扉はスライドさせることで大きな開放感を得ることができるようになっている。書斎には歴代の愛車のスケールモデルをモデラーに依頼して製作。なんとシートや、お守りまで再現されている凝りよう。ケースを下からライトアップすることで、作品をより引き立たせるようにデザインされた。仕事が終わると、この部屋で過ごすことが多いとは施主のAさん。

また、2台のルーフのために入れられたのはカスタムしたEG WAY OUTで、ななめに出ているマフラーに合わせてワンオフ製作。シングルタイプを改良して、デュアルタイプとし、すっきり見せたい設計士の提案により、巻き取りホースは収納式となった。今まで近所に気を使いながらエンジンの暖気をしていたが、排気ガス、音の問題がなくなり夜でも暖気できるのはEG WAY OUTを導入した最高のメリットだという。

吊り下げ式のガラスにしたことで大きな空間にもなり、囲ってしまえば落ち着いた空間になる。

鉄筋コンクリート造により、シャープな印象のA邸。ガレージにはこだわりの設備が導入されAファミリーにとっては最適な家となった。ルーフでサーキット走行もたしなむA氏。「ルーフに出会って人生が変わりました。壊れないし、走らせると楽しいクルマです」とこのガレージで次の機会を待ちわびている。

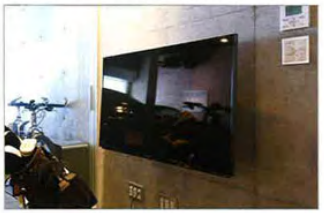
24時間、吸気と排気を管理している換気扇。天井と合わせてマッドブラックにペイントを施している。

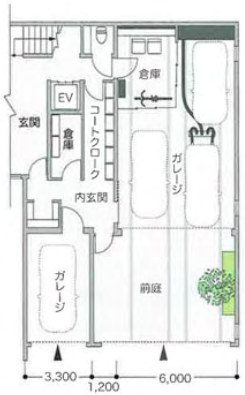
シングルを改良してCTR用としたEG WAY OUT。ホースも10mコングをカスタマイズ、巻き取りも設置している。

歴代の乗り継いだクルマをモデラーに依頼して製作をしてもらったというダイキャストモデル。照明を仕込んで、ライトアップしている。

ガレージと書斎にエアコンを設置。あくまでもシャープに見せるためにすっきりとさせるため、壁面に収納させた。

書斎に用意したTVモニターは自在に角度を変えることが可能。しかも3階のオーディオルームと連携して録画した番組も視聴が可能。





床面は厚さのしっかりとした石材を敷き詰めた。クルマの配列に合わせて色を変えているのでクルマの出し入れはしやすい。

P PLANNING DATA

敷地面積◆396㎡
ガレージ面積◆約615㎡
構造◆鉄筋コンクリート
外装仕上げ◆コンクリート
内装仕上げ◆モルタル
竣工◆2015年8月
建築費◆秘密
愛車◆1998 RUF CRT1
1997 RUF CRT2
2011 Porsche パナメーラ・ターボ
2014 Porsche マカン

O OWNER'S CHECK

■一番気にいっているところは?
ガレージから眺めた全体の眺めは最高ですね。排気ダクトシステムを導入したことで気兼ねなくアイドリングできることはいいですね。

■ちょっと失敗したところは?
紅葉を入れましたが、秋の落葉は予想していましたが春にも葉が変わるので掃除が想像以上に大変でした。

■次の夢はなんですか?
クルマの下に旧車のためオイル漏れ防止のシートを敷いてますが、ミラーにしてエンジンを眺めるように改良したい。また将来は小学生の息子にRUFをドライブしてもらあいたいですね。

C COMMENT FROM A BUILDER

株式会社セーフティーライフ
長谷川　睦さん

デザイン、意匠にこだわった設計士でしたので導入には打合せを何回か繰り返しさせていただきました。その結果、おさまりもよく気にいっていただけたのは何よりです。A様の強い要望でCTR用のアタッチメントの片方をCTR2にも使用できるようにカスタムをしました。本当にそんなカスタムが可能なのか? 完成するまでは試行錯誤の連続でしたが、ご満足いただく製品に仕上がりほっとしています。

〒460-0002
愛知県名古屋市中区
丸の内1丁目2番11号 LOMASビル
phone/052-221-8684
http://www.safety-l.com

『テクニカル東新』製ホームパーク24が入るHさんのガレージ。リフトを導入するために、ガレージの天井を高くするなど工夫された。

09

GARAGE LIFE EXAMPLE

リフトが入る秘密のガレージ。クルマの存在がストレス解消。

愛知県　H邸
オジデザインワークス

愛知県で歯科医院を経営するHさん。
病院の移転と同時にガレージも建築。
設計デザインを依頼した事務所は店舗が専門。
ガレージの設備は必要不可欠なものを。

photo/Keigo-KIMURA(木村圭吾)
text/Jun-ISHIHARA(石原　淳)
special thanks to SAFTY LIFE
http://www.safety-l.com/

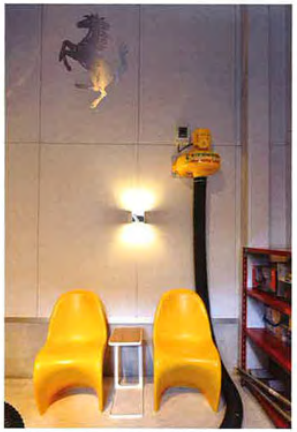
ガレージシャッターは『文化シヤッター』製スチール電動ドアを導入。ガレージの壁面と合わせてシルバーのカラーを選んでいる。

書斎と呼ばれるスペースは、ガレージとガラスで仕切ることによりクルマを眺めるように依頼。収納スペースには雑誌、書類が整理整頓され収まっている。

愛知県名古屋駅からクルマで30分離れたところで歯科医院を経営するHさん。愛車は純正色イエローを纏った今年納車されたばかりのフェラーリ458スペチアーレとBMW 5シリーズGT。2台ともに走ることを目的に購入したクルマで、休日にドライブに出かける愛車。経営している病院の移転のときに、いつかはガレージを所有したいと考えていた。なぜなら今までは別棟のスチール製ガレージに、フェラーリF355を格納し、シャッターを開けてクルマの出し入れをしていたが、その作業がだんだん億劫となり、乗るのもままならぬ状態になってしまった経験を持つ。いつでもクルマが確認できて、いつでもドライブができる環境が欲しかったとは施主のHさん。

今回、移転させる矯正歯科医院をはじめ、店舗デザインを得意とする『オジデザインワークス』に、ガレージの設計も依頼。新店舗の歯科医院2階に住居、そして隣接してガレージが設計されることになった。店舗やクリニックの設計を得意とする会社なので、店舗はほとんど設計事務所の提案で決まっていったが、ガレージとなると話は別。Hさんが自ら、雑誌やカタログ

ガレージの壁面には、まるでフェラーリレッドで塗られたかのような棚が用意される。これは昔のクリニックで使っていたものを移設した。



ボディカラーに合わせて購入したのはデザイナーチェア。EG WAY OUTのおかげで、エンジン始動中もチェアで寛ぐことが可能。

09 リフトと排気システムをリクエスト 設備を入れて便利なガレージに。

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF Mr.H

クルマのボディカラーに合わせてモーターをペイント、ロゴを入れたEG WAY OUT。アタッチメントはリフトの高さを考慮して調整された。

約70畳にもおよぶ広大なリビング。ゲストのための和室も用意されている。キッチンもアイランド型とし、シンプルなデザインとしている。

09 PLANNING DATA & MATERIALS

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF M.H

大きなリビングにトレーニングルーム シンプルなデザインの居住スペース。

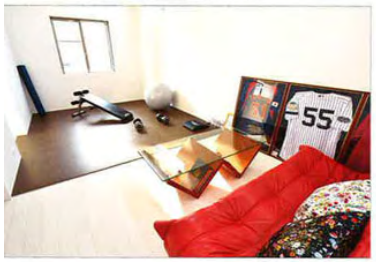
を見せて、ガレージのなかの設備を決めていった。そのなかでもこだわったのはまずはリフト。片持ちのリフトのほうが支柱はなく、クルマの出し入れがしやすいと友人から聞くと『東新テクニカル』に決めて、クルマに合わせたサイズのリフトを特別にオーダーしてクルマのサイズに合わせたものを導入した。

オーダーしたアイテムがもう1つ。エンジンの暖気をしてバッテリー上がりを防止したいこと、そしてクルマのエンジンをガレージ内でかけたいこともあり、排気ダクトシステム『EG WAY OUT』の導入も依頼。アタッチメントはリフトの高さがあるので、キャスターの大きさで調整。モーターはクルマのカラーに合わせて、デュポン製カラーで調合してペイント、Hさんのガレージに合わせてワンオフ製作をしている。またガレージに飾られたサインも特別オーダー。そしてイエローボディのクルマが入ることを考えて、ガレージの内装をシンプルに仕上げることを想定して、なるべくシンプルなガレージへと仕上げられた。

そしてガレージと隣接して設けられたのが書斎。クルマを眺めながら仕事もできるスペースである。ガレージよりやや高くなっていることもあり、クルマを眺めることを可能とし、収納部も考えられている。収納扉を開ければ今までHさんがコレクションしてきた雑誌が、整理され納められている。そしてフェラーリの1/12スケールのダイキャストモデルがきれいにディスプレイできるスペースなど、サイズまで細かく設定されている。ガレージができてよかったことは「遠くまでいかないが、休日になるとクルマをドライブする機会が確実に多くなりました」とHさん。しかも、夜になると書斎で事務仕事ができるなど充実した毎日を過ごす。

書斎から左の扉を開けると仕事場に。そして右側の階段を登ると70畳にもなる広いリビングにアクセス。リビングに併設されたトレーニングスペースで好きなゴルフのためにエクササイズも欠かさない。Hさんに合わせた生活動線が確保され、今まで以上に便利になったと語る。その昔はサーキット走行も楽しんだというHさん。今はガレージを所有して、新しいステージのクルマの楽しみ方を満喫中。ガレージが完成して夢はかなったが、それ以上に仕事に精が出るようになったと、その効果は想像以上に大きかったようだ。

リビングと隣接しているトレーニングスペース。野球やゴルフをたしなむご主人の体力づくりのスペースでもあり、床面を工夫して設計している。



ガレージ内の窓は、プライバシーの確保もありさほど大きくないものを設置。最低限の空気の入れ替えができるようにした。

P PLANNING DATA

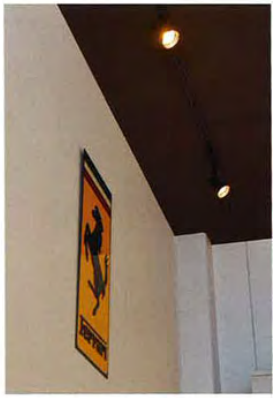
敷地面積◉753㎡
ガレージ面積◉36.5㎡
延床面積◉633㎡
構造◉ALC 鉄骨造
外装仕上げ◉ガルバリウム鋼板
竣工◉2015年2月
建築費◉推測1000万
愛車◉2015年 フェラーリ458スペチアーレ
2013年 BMW5シリーズGT
2014年 レンジローバー・イヴォーク

O OWNER'S CHECK

■一番気にいっているところは？
自分の書斎からクルマを眺めることができることは最高。しかもビルトインになり、仕事場と住居のアクセスもできる設計は便利。

■ちょっと失敗したところは？
クルマをサイドから眺めることを検討してもよかったかな。

■読者へのアドバイスを！
EG WAY OUTを導入して、排気ガスがここまで漏れないとは思いもしませんでした。導入したことでエンジンの暖気することができるのでおすすめです。



ガレージのライトはレールを使ってスポットライトを用意。クルマを際らすなど、書斎から見えるクルマのデザインも楽しんでいる。

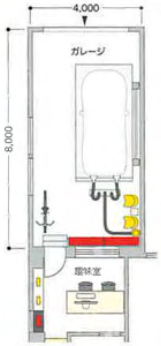
上／クルマが派手なため、シンプルなガレージにしたかったとはHさん。その結果、ガレージの仕上げは特段拘らなかった。
下／クリニックをはじめ、ガレージ内もライトの使い方に特徴がある『オジデザインワークス』。施主のHさんとのコラボによりガレージは設計した。

C COMMENT FROM A BUILDER

株式会社セーフティーライフ
長谷川 睦さん

施主であるH様のリクエストで設計段階から導入、打合せをさせていただき納品させていただきました。458スペチアーレ両色のカスタムカラーや、リフトに合わせキャスターのサイズを大きくするなど細かなオーダーにも対応いたしました。

〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内
1丁目2番11号LOMASビル
phone/052-221-8684
http://www.safety-l.com



ガレージの前には、奥さまのレンジローバーが停められるスペースも確保。もちろん、普段はガレージ内のクルマを公開することはないシークレットスペース。

マンションの地下にリノベートされた秘密のガレージは考え抜かれた設計。

台湾・台中　CHIEN邸

隣国の島国、人口2336万人の台湾。日本からも毎年観光で150万人あまりが訪れる。台湾でもGarageLife誌のファンは存在し、熱心だ。写真で研究をして夢をかなえたCHEIN邸を訪問した。

photo/Jackie-CHEN(陳　健雄)　text/Jun-ISHIHARA(石原　淳)
Special thanks to SAFTY LIFE　http://www.safety-l.com/

11
GARAGE LIFE EXAMPLE

左ページ／1995年式ポルシェ993ターボが収納されるガレージ。ガレージシャッターは任意に応じて注文が可能で、『安達扉門』製をコンストラクターに依頼した逸品。直径120cmあまりのネオン管はクルマを購入する前に特別オーダーしたもの。
上／くつろぎのスペースには、CHIEN HUNGさんの友人たちが完成を祝って集合。クルマを肴にクルマ談義に明け暮れた。

約269万人が住む台湾の中核都市・台中。台湾の新幹線と呼ばれる高速鉄道が停車する駅もあり、製造業が盛んな街として多くの日本人も訪れる街としても有名な地域である。熱帯性気候であり、雨季もあるので高温多湿という言葉がぴったりだ。その街に建ち並ぶのは国内有数のマンション群。そのなかのマンションの地下にガレージがプランニング、厳密にいうとリノベーションされた。日本と異なるのは、初めから地下駐車場付きで販売された地下1階、地上4階建てのマンション。本誌、GarageLifeの読者だというCHIEN HUNGさんは、3年前にリノベートしてガレージを設計した。それが今回、取材対象となった現場である。

10年前に新築で購入したマンションは、すべてがスケルトンで販売され、コンストラクターに依頼してカスタマイズができるという物件。そこでCHIEN氏はリビングや寝室をオーダー。ライトから、壁面、カーテンやシャンデリアまですべてをカスタマイズしている。そしてはじめはシンプルだったガレージのスペース(当時はガレージというよりも車庫)を3年前にリノベートした。なぜなら以前から、台湾の紀伊国屋で購入したGarageLife誌に掲載されていたアンティークスタイルのガレージに影響されたことが大きい。

1階にあたるリビングのスペース。壁面は施主の依頼によりオーダーが可能。すべてをCHIENさんが中心となって考案、デザイナーに依頼した。

ガレージにリノベートされたスペースは、購入者の意志により様々なカスタマイズを施すことができるようだ。ガレージのシャッターが設置されることは多いようだが、多くのガレージはシャッターのなかにクルマが収納されるだけのもの。ここまでカスタマイズされたのは191棟のなかでも唯一という。床面にはアウトドア用のタイルが施工され、壁面にはエイジングされたタイルを貼るなど、そのほとんどのマテリアルは日本語のGarageLifeの写真から読み取って、インターネットで探すなどして、理想に近いガレージを造りあげた。

壁面にディスプレイされたチャンピオンのプラグや、アンティークのガスポンプ、オイルの看板などはアメリカに住んでいる友人に購入してもらい、台湾まで送ってもらった貴重なアイテム。数種類あるライトはインターネットで探して購入したものばかり。スペースに応じてスポットライトや、ペンダントライトなど配置しデザ

4階のベッドルームの向こう側に広がるバルコニー。このスペースでバーベキューを楽しむことも可能だ。

折れ戸により部屋を仕切ることが可能な2階のスペース。息子さんはスポーツ・タッキングでワールドチャンピオンに輝いたこともある実力の持ち主。

11

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF CHIEN

憧れていたポルシェを購入。仲間で楽しむ夢の空間。

2階は子どもための勉強部屋としてプランニングするも、現在は10歳と7歳になる子どもたちの遊びのスペースとなっている。

床面にアクセントを加えたガレージスペース。平面でありながらも土足と、裏足のスペースと認識させる役割も持たせている。

11

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF CHIEN

PLANNING DATA & MATERIALS

写真からアレンジしたガレージは、
細部まで研究されたスペース。

クルマのカーボン製タワーバーを使って収納庫の扉としている。これも彼のアイデアで、お気に入りのポイントだ。

インを優先しながら選んだものばかり。絶妙なバランスが保たれたデザインは、施主の彼がデザイナーのような錯覚になるほどだ。2台の愛車が輝いて見えるのは、周りに配置されたアイテムの影響もある。

じつはガレージの奥に配置された約120cmのネオン管は、看板屋に依頼して製作したスペシャルなアイテム。今でこそガレージにはポルシェ993が入るが、3年前にはポルシェは所有していなかったという。昨年、日本から輸入して購入したポルシェは、夢をかなえるための貴重なクルマになった。ガレージに配置されたソファに座ってクルマを眺めるのが至福の時だという。

ガレージから階段を上がるとリビング、キッチンと1階にアクセスができる。2階は子ども部屋。3階にはベッドルームとバーベキューができるバルコニーという間取り。奥さまに、ご主人のことを尋ねると「ガレージにいる時間が増えて、外出することが少なくなった」とご満悦。ガレージで子どもたちと大きなスクリーンを降ろして、映画を観ることもあり家族で楽しむスペースとなった。偶然、台湾の書店で見つけたGarageLife1冊が、ライフスタイルを大きく変えてしまった。それは彼にとっては大きな転機だったようだ。取材の最後に、「GarageLifeに出会えたことが、人生のなかで大きかった」という恥ずかしいくらいの賛辞をいただいた。言葉の壁など関係なく、ガレージの世界が伝わることを再認識した取材となった。

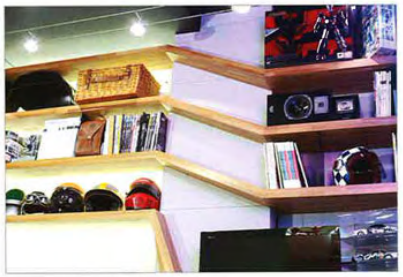
床面はアウトドア用のタイルと、ビンテージスタイルのタイルを貼り分けた。

大好きなダイキャストカーを展示するための木製ボックス。マジンガーZのフィギュア、プラモデルもコレクションアイテム。

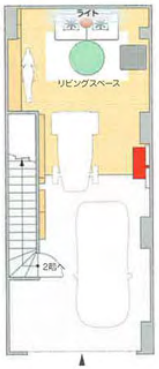
上／ガレージの天井スペースを埋めたアメリカ製のナンバープレート。スペースの有効活用をしている。　下／100インチものスクリーンがリモコンのスイッチ1つで天井から降りてくる。これも雑誌から学んだアイデアの1つ。

左／アメリカから友人を通じて輸入したというスパークプラグのカタチをしたディスプレイモデル。壁面にどうしても欲しかったアイテム。　右／壁面のブレーカーボックスを目隠しするために特別オーダーしたもの。アルミ製パンチングプレートで製作し、棚の収納とデザインを合わせている。

台湾の老舗工具メーカー「TOP TUL」のTOOL BOXを愛用する。シンプルで使いやすいと評判。なんと日本にも代理店があり絶賛販売中。



モルタルの壁面に、木目の棚を設けたガレージ。
効率よく、デザインも意識したスペースとなっている。



P PLANNING DATA

敷地面積◉不明
ガレージ面積◉約40㎡
構造◉鉄筋コンクリート
外装仕上げ◉コンクリート
内装仕上げ◉モルタル＆タイル
竣工◉2012年4月
建築費◉秘密
愛車◉1995 Porshe 993 turbo／2013 CATERHAM SUPERLIGHT R500／2005 DUCATI／1951 Vespa／2013 Vespa946

O OWNER'S CHECK

■一番気にいっているところは？
ソファに座ってガレージを眺めることができるスペースが最高。

■ちょっと失敗したところは？
とくにありません。

■次の夢はなんですか？
1943年製造のピンボールを購入して、ガレージに設置したい。